

オンラインデータベースを使いこなそう

～タダでは手に入らない情報もある～

1. オンラインデータベースの特徴

インターネット上で正確な情報を入手するためにはオンラインデータベースが便利です。

<良い点>

- キーワードを入力しただけで、簡単に調べることができる
- 情報量が多い
- 発行元がはっきりしていて正確
- 情報が更新される
- 専門的な情報が手に入る



<弱点>

- 個人で使う場合、有料であることが多い。無料で利用するためには公共図書館に行く必要がある。また、プリントアウトする時も費用がかかる

2. オンラインデータベースの種類

ここでは中・高校生にも使いやすく便利なオンラインデータベースを紹介します。

辞典・事典 (無料の百科事典より信頼できる情報が得られます!)

「ジャパンナレッジ」(ネットアドバンス)

「ブリタニカ・オンライン・ジャパン」(ブリタニカ・ジャパン)

「ポプラディアネット」(ポプラ社)

雑誌の記事検索 (一般誌から学術雑誌まで、幅広い雑誌記事の検索が可能です)

「マガジンプラス」(日外アソシエーツ)

総合人物情報 (多数の人名事典類を一括して検索)

「フープラス」(日外アソシエーツ)

科学データ (自然科学に関するデータ集)

「理科年表プレミアム」(丸善出版)

総合科学雑誌 (科学分野の最新の論文を調べる時に)

「nature」(シュプリンガー・ネイチャー)

「Science」(AAAS)

3. オンラインデータベースで過去の新聞記事を探そう

レポートやディベートの根拠を探す時に、過去に起きた事やそれに対する様々な意見を知ることができる新聞記事も役立ちます。ではどうやって集めたらいいでしょうか？

- ・ インターネットで調べる
- ・ 実際の新聞記事や縮刷版を見る
- ・ 新聞記事オンラインデータベースを利用する

インターネットは「キーワードを入力しただけで、簡単に調べることができる」のが特長です。しかし、各新聞社のウェブサイトの場合、検索可能な期間が限られています。

(毎日新聞は過去1カ月まで、読売新聞は過去1年程度まで等)。

このような時には、過去何十年分もの記事をまとめて検索することができる、新聞記事オンラインデータベースを使うのが便利です！

主な新聞記事データベース

朝日新聞	「聞蔵Ⅱ」「朝日けんさくくん」
読売新聞	「ヨミダス歴史館」
毎日新聞	「毎索」
産経新聞	「The Sankei Archives」
東京新聞	「中日新聞・東京新聞記事データベース」
日経新聞	「日経テレコン21」
新聞記事横断検索データサービス	「G-Search」



新聞記事オンラインデータベースはインターネット経由で利用できますが、ほとんどが有料のサービスです。でも、学校図書館や公共図書館で利用できることもあります。

学校の司書に相談してみよう。

4. オンラインデータベースを図書館で利用する

どの公共図書館で、どのような種類のオンラインデータベースが利用できるかについては、都立図書館のホームページで調べることができます。あらかじめこのページで確認してから公共図書館に調査に行きましょう。

東京都立図書館 > 東京の公立図書館情報 > 都内公立図書館インターネット等サービス状況
(http://www.library.metro.tokyo.jp/reference/db_guide/online_db_guide/tabid/2142/Default.aspx)